

# 補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和元年 5月31日 報告

担当課

高齢者福祉課

補助金等の名称	佐倉市高齢者クラブ補助金						
予算科目	一般会計	款	3	項	2	目	1
予算事業名	高齢者クラブ活動支援事業						
実施計画の位置づけ	高齢者が楽しく生きがいのある暮らしづくりに努めます						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・ <b>県付</b> 国直接・県直接・国県補助なし					2,141 千円	
交付先	佐倉市高齢者クラブ連合会						
支出根拠規定	佐倉市高齢者クラブ補助金交付要綱						
補助の目的	老人福祉法(昭和38年法律第133号)第13条第2項の規定に基づき、地域を基盤とした自主的な組織である高齢者クラブが行う高齢者福祉及び地域福祉の増進に資するための活動を推進し、もって高齢者の生活を健全で豊かなものにするとともに、地域社会の活性化を図るため補助金を交付する。						
補助の効果	地域を基盤とした自主的な組織である高齢者クラブが行う高齢者福祉及び地域福祉の増進に資するための活動を推進することで、高齢者の生活を健全で豊かなものにするとともに、地域社会の活性化が図られる。						
補助対象事業の具体的内容	単位クラブ及び市高連の行う下記事業 社会奉仕活動(一人暮らし高齢者への訪問、子供の見守りパトロール、地域の清掃活動など) 老人教養講座開催(小学生との世代間交流など) スポーツ振興事業(ゲートボール、グランドゴルフなど)						
対象経費及び補助率	・単位クラブ及び市高連の行う社会奉仕活動、老人教養講座開催及びスポーツ振興事業に要する報償費、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料並びに使用料及び賃借料 ・補助率 対象経費と基準額のいずれか少ない額を限度(事業費の1/2以内)						
補助金額の根拠	単位クラブ活動 ①会員数に応じて定められた金額に単位クラブ活動月数及び単位クラブ数を乗じた額 (1)25人以上30人未満 3,500円 (2)30人以上40人未満 3,800円 (3)40人以上50人未満 4,100円 (4)50人以上60人未満 4,400円 (5)60人以上70人未満 4,700円 (6)70人以上80人未満 5,000円 (7)80人以上90人未満 5,300円 (8)90人以上 5,600円 市高連活動 ②800円×単位クラブ活動月数×単位クラブ数 ③240,000円 県老連会費分 ④4,000円×単位クラブ数 ⑤60円×単位クラブ会員数						
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他 県老連会費については、千葉県老人クラブ連合会の事業費として、千葉県下の全市町村連合会から一律で単位クラブ数及び加入人数により会費が徴収されるため、市町村からの参加の有無を問わず負担するものであり、広域活動促進のため、その会費分について、全額補助をするものである。						
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日						

## 補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	高齢者福祉課	
補助金等の名称		佐倉市高齢者クラブ補助金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,551	単位クラブ数 65以上	4,506	単位クラブ数 66クラブ
	成果達成状況の分析と今後の方策			
昨年度より1クラブ増加し、目標値も達成。今後も引き続き、単位クラブの支援を図っていく。また、若手高齢者への加入促進を図る支援を展開することで、次の世代への継承を図る。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,551	単位クラブ数 66以上	4,593	単位クラブ数 66クラブ
	成果達成状況の分析と今後の方策			
クラブ数は昨年度より増加しなかったが、目標値は達成。今後も引き続き、単位クラブの支援を図っていく。また、若手高齢者への加入促進を図る支援を展開することで、次の世代への継承を図る。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,551	単位クラブ数 67以上	4,557	単位クラブ数 60クラブ
	成果達成状況の分析と今後の方策			
クラブを引き継ぐリーダーの成り手がいないこと等で、休会するクラブが増え、クラブ数が昨年度より減少した。若手高齢者への加入促進を図る支援を強化すること等で、次の世代への継承を図っていく必要がある。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,651	単位クラブ数 68以上	4,251	単位クラブ数 59クラブ
	成果達成状況の分析と今後の方策			
クラブを引き継ぐリーダーの成り手がいないこと等で、休会するクラブが増え、クラブ数が昨年度より減少した。若手高齢者への加入促進を図る支援を強化すること等で、次の世代への継承を図っていく必要がある。				
平成31年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,551	単位クラブ数 69以上		
	成果達成状況の分析と今後の方策			
令和元年度までに単位クラブ数 69以上を達成する。				
計画期間終了後の最終的な目標値				
計画期間終了後の最終的な成果値				